

平成 16 年度 秋期 アプリケーションエンジニア 午後 解答例

この解答例は、独立行政法人 情報処理推進機構 情報処理技術者試験センターが公表しているものです。著作権は、同センターにありますので、その点ご注意ください。

問 1

設問 1 入力させる項目 会員 ID
チェックできること 登録確認メールを受信したこと
入力させる項目 パスワード
チェックできること 申込者本人であること
(と は順不同)

設問 2 クライアント側の処理は、顧客側のブラウザでスクリプトを無効にするなどによって、システム設計者の意図どおりに動作しない可能性があることを、適切に説明していること。

設問 3

- (1) 会員マスタに追加すべき項目 前回注文日
商品マスタに追加すべき項目 登録日
- (2) プロセス 商品選択
追加すべき処理内容 会員マスタを読んで、前回注文日を商品詳細情報表示に引き渡すことを、適切に記述していること
- プロセス 注文内容確認・確定
追加すべき処理内容 会員マスタの前回注文日を本日の日付に更新することを、適切に記述していること
- (と は順不同)

問 2

設問 1 a - 会員証 b - 現在貸出図書冊数 c - 貸出履歴ファイル
d - 貸出会員コード e - 貸出日時 f - 現在貸出図書冊数
g - 返却日時 h - 貸出日時 i - 貸出可能

設問 2 IC タグの一括読取りの読取り率が 97% しかないので、未読のチェックを行うために画面から冊数を入力していることを、適切に説明していること。

設問 3 書架の近くに設置した PC で図書の IC タグの情報を読み込んで、貸出可能期間を表示させるという方法を、適切に記述していること。

設問 4

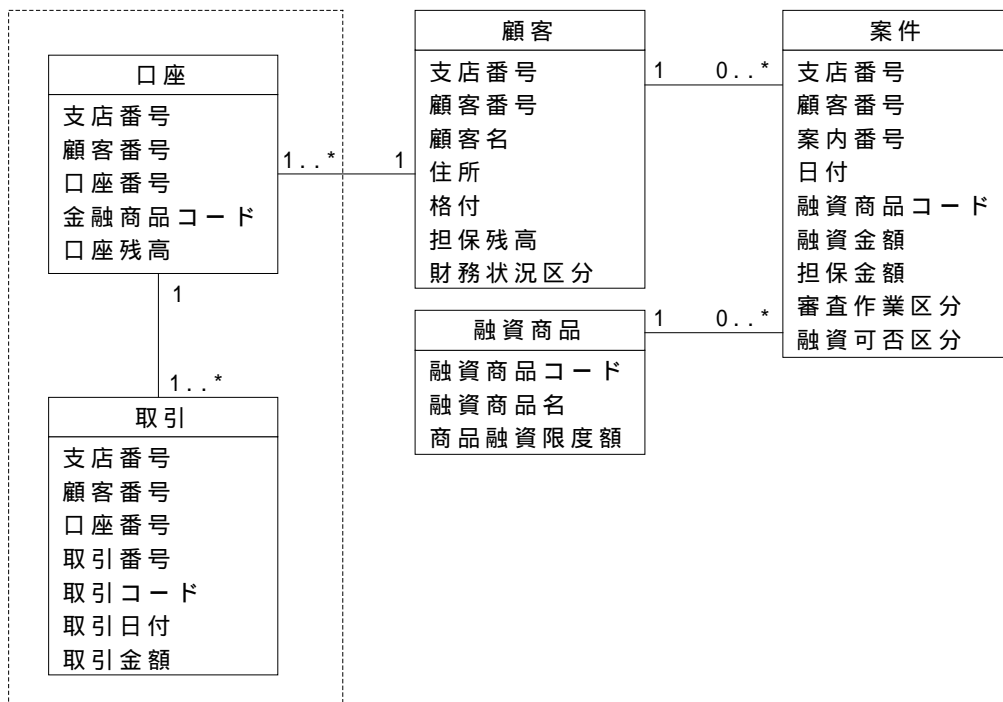
- (1) 貸出会員氏名

- (2) 処理名 返却処理
 追加すべき処理内容 ICタグの貸出会員コードの内容をクリアすることを、適切に記述していること。

問3

- 設問1 a - 融資不可 b - 審査請求 c - 融資不可
 d - 融資可 e - 決裁 f - 融資契約

設問2



設問3

- (1) g - 案件テーブルの審査作業区分に、“承認作業済”を設定することを、適切に記述していること。
 (2) h - 融資商品テーブルを読み込む
 i - 財務状況区分 = “基準内”
 j - 融資限度額 融資金額

設問4

- (1) 他案件で担保残高の更新が行われる前に、当該案件の融資限度額が計算される場合であることを、適切に記述していること。
 (2) 融資限度額チェック処理

問 4

設問 1 a - 登録日 b - 同一の注文番号のデータ
c - 請求確認済 d - 発注済

設問 2 非標準品の品目情報を品目マスタに、発注基本情報を発注品目マスタに登録することを、適切に記述していること。

設問 3 受入数 発注数と同数、又は“0”であることを、適切に記述していること。
良品数 “0”以上、かつ受入数（発注数）以下であることを、適切に記述していること。

設問 4 分割納入の場合は、納品書の受入数を実際の納品数に訂正することを、適切に記述していること。

注：この解答例に関するメールでのご質問には、応じかねます。あしからずご了承ください。